

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

はるの家(令和5年度)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		3	3	
	②	職員の配置数は適切であるか	3	3		
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	1	1	
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	3	3		
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6			
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6			
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	1		
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	3		
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	1		
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	1		
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6			
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	1	5		
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		6		
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6				

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	1		
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ て支援を行っているか	4	2		
関係機関 や保護者 との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に その子どもの状況に精通した最もふさわしい者が 参画しているか	5	1		
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交 換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送 迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に 行っているか	5	1		
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、 子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	6			
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こど も園、児童発達支援事業所等との間で情報共有 と相互理解に努めているか	6			
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から 障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、そ れまでの支援内容等の情報を提供する等してい るか	6			
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援セン ター等の専門機関と連携し、助言や研修を受け ているか	6			
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のな い子どもと活動する機会があるか	4	2		
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加してい るか	6			
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子ど もの発達の状況や課題について共通理解を持っ ているか	6			
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者 に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っ ているか	2	3	1	
保護者 への説明 責任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について 丁寧な説明を行っているか	6			
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適 切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6			
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催 する等により、保護者同士の連携を支援してい るか	2	1	3	

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	改善目標、工夫している点など
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	2	2	2	
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	6			
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	2	2	
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6			
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6			
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6			
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6			
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6			
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6			

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	8	5	1	・理想はもう少し広いと有難いです。 ・見ていないのでわからない。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	13	1	0	・スタッフさんの一日の数を把握出来ていないのでわからない。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	10	4	0	
適切な 支援の 提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	13	1	0	
	⑤	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	12	2	0	
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5	6	3	・多分、無いと思いますが、よくわかりません。
保護者 への 説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	14	0	0	
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	14	0	0	
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	14	0	0	
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	7	5	2	
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	13	1	0	
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	13	1	0	
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	11	3	0	
非常時 等の 対応	⑭	個人情報に十分注意しているか	13	1	0	
	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	12	2	0	
満足 度	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	12	1	1	
	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	11	3	0	・個人的な傾向で、1人を好む子なので。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	12	2	0	・利用時間がもう少し長いといいなと思います。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

事業所評価シート（2023年度）

* 職員と保護者による評価分析

< 所内での分析 >

- ・活動場所が狭いのは昨年同様。ご利用者の組み合わせによってはワゴン車への3名乗車が難しくなり次年度より曜日変更を依頼している。活動場所はもちろんだが車中も車椅子の大きさや乗車角度によっては今後も変更の可能性があることをご家族に周知が必要だと思われる。
- ・コロナが5類に移行したことで、放課後等デイサービスをご利用の方は11:30からの早帰りの利用が再開している。児童発達支援の人数によっては最大7名となり環境調整が必要になる。
- ・秋にはるの秋祭りを開催し当日キャンセルの方もいたが参加者から概ね好評だった。今回はリフトの業者を呼んで体験会を実施した。将来的に必要となるサービスや福祉用具等について今後も必要と思われる。児童発達支援と放課後等デイサービスを行う多機能型事業所であるためそれぞれの保護者がお互いに交流できるようにしていきたい。
- ・学校の連絡帳については同意書を取り確認させていただくことで先生からの申し送りや当所への連絡帳ではわからない学校やご自宅での様子が分かるようになった。

< 事業所の強み >

- ・重心事業所として看護師と保育士というスタッフ構成で安全に受け入れられる体制を整えている。リハスタッフも在籍し活動する上での姿勢や排痰ケア等ともに検討することができる。
- ・医療的ケアの必要なご利用者が遊具やおもちゃでどのようにしたら楽しめるか工夫しながら活動している。おもちゃインストラクターやおもちゃコンサルタントの資格をもつスタッフが複数おり手作りおもちゃを使った保育ができる。
- ・商店街や公園の多さ等地域性を活かし、地域の方との関わりを大切にしている。
- ・連絡帳でのやりとりだけでなく活動の様子をSNSで発信することで活動内容がより伝わるようにしている。
- ・同事業所に訪問部門があるため児の状態把握及びご家族支援について情報共有することができる。

<事業所の改善点>

- ・活動場所および活動時間について継続して検討する。
- ・地域自立支援協議会をはじめとする会議において得られた地域課題に関する取り組みや障害のある方に対する支援について情報提供を行っていく。

<事業所の改善への取り組み>

- ・公園が多く商店街もあり公共施設も多い周辺環境の良さを考えるとこの地域で移転先を見つけていきたい。今年度も継続して移転先を検討していく。活動時間については移転先が見つからなければ、長期休み等の時間延長は難しいと思われるためご理解いただけるよう周知する。
- ・スタッフが研修や会議に参加できる機会を増やし関係機関との顔の見える関係作りを行っていく。

事業所名 はるの家

担当者 坂本 みゆき